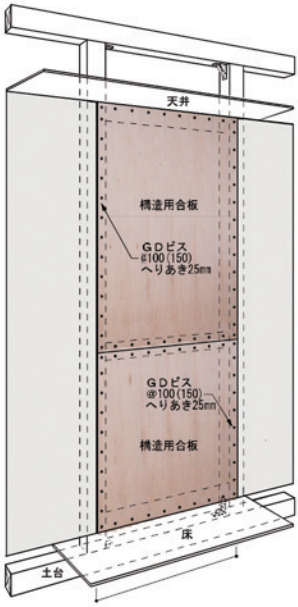
GDウォール工法

床・天井をそのままに壁補強ができ工期短縮・費用低減も実現

「GDウォール工法（正式名称：グランデータ・ドラゴン・ウォール工法）」は、床や天井をそのままに壁補強ができる※1のが特長。市販の構造用合板を使用でき※2、施工には特殊な技術や工具も不要。付帯工事を削減することにより、工期短縮および費用の低減を可能とした。
上下隙間仕様、最大耐力8.3kN/m※3を実現している。

※1：天井の懐が310㎜以下の場合
※2：JAS規格12㎜厚の２級Ｉ類または特類を使用
※3：大壁910タイプ・ビスピッチ100㎜の場合

（一財）日本建築防災協会
住宅等防災技術評価取得（DPA-住技-62）



GDウォール工法　構造図

■適用範囲

・日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」（2004年・2012年版）の適用が可能な専用住宅および併用住宅で、木造軸組工法・伝統工法および立面的混構造の木造部分
・延べ床面積500m²以下、３階以下の建物

■適用条件

・壁の片面補強用（両面使用や壁裏面に上下隙間仕様の耐力壁がある場合は使用不可。ただし裏面の壁の耐力を非耐力化する場合はこの限りでない）
・室内側の壁補強用（風圧を受ける外壁側は使用不可）
・１階において、補強壁の直下に基礎があること（基礎新設の場合はこの限りでない）
・両端に柱があること
・上下隙間が以下の寸法に収まること
　上隙間：310㎜、下隙間：155㎜
・柱サイズが105角以上または90角以上のこと
・壁の連続配置の制限条件を満足すること


施工完了

問い合わせ先
グランデータ株式会社　TEL042-523-7800　http://www.grandata.co.jp/